

製品名: CTGF ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09502**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	CTGF CCN2 HCS24 IGFBP8
別名	Connective tissue growth factor (CCN family member 2; Hypertrophic chondrocyte-specific protein 24; Insulin-like growth factor-binding protein 8; IBP-8; IGF-binding protein 8; IGFBP-8)
遺伝子 ID	1490.0
SwissProt ID	P29279
免疫原	アミノ酸配列範囲 141-190 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

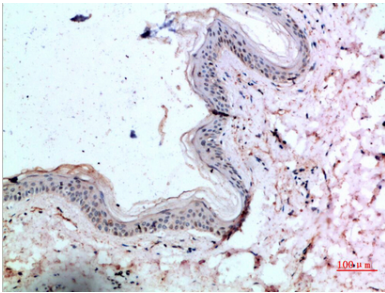
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、血管内皮細胞から分泌されるマイトジェンです。コードされるタンパク質は、軟骨

細胞の増殖と分化、そして多くの細胞種における細胞接着に関与し、血小板由来成長因子と関連しています。この遺伝子の特定の多型は、全身性強皮症の発症率の上昇と関連付けられています。[RefSeq 提供、2009年11月]、機能: 血管内皮細胞から分泌される主要な結合組織マイトアトラクター。軟骨細胞の増殖と分化を促進します。線維芽細胞、筋線維芽細胞、内皮細胞、上皮細胞など、多くの細胞種において、ヘパリンおよび二価カチオン依存性の細胞接着を媒介します。線維芽細胞増殖因子誘導性 DNA 合成を促進します。類似性:CCN ファミリーに属します。類似性:1つの CTCK (C 末端シスチン ノット様) ドメインを含みます。類似性:1つの IGFBP N 末端ドメインを含みます。類似性:1つの TSP タイプ 1 ドメインを含みます。類似性:1つの VWFC ドメインを含みます。サブユニット:モノマー、

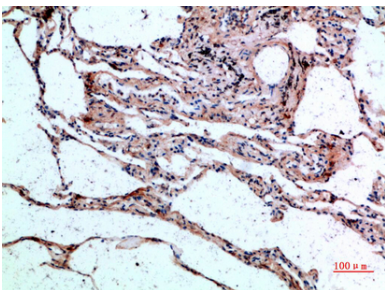
研究分野

心血管系

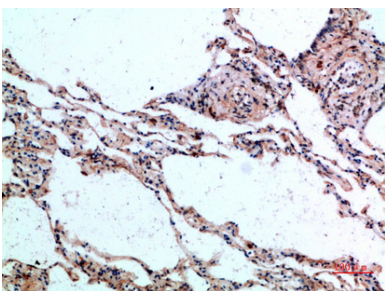
画像データ



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された